

## テキストマイニングによって浮かび上がる多摩大生の私の志の傾向

21511165 杉山悠太

私は、大学でのゼミ活動でデータ分析を行っていて、自動車の車種別の販売台数の分析などの量的変数のビッグデータの分析を多く行い、様々な方法で分析することが可能となった。また、最近の活動で質的変数、テキストデータの分析も可能になったので、テキストマイニングを用いたデータ分析を行いたいと考え、今回の研究を行った。

本研究では、多摩大学に入学した生徒が最初にクラス分けされるプレゼミでの活動で A3 用紙に記入する「私の志」を入学年毎に分析している。多摩大学では、志を大切にしており、大学の目標として、「現代の志塾」を掲げていて、志を育む教育が行われていることから、学生の使用している言葉の傾向や使用頻度からどのような志を持って多摩大学に入学したのか、また大学に入学してどのような志を持つようになったのかを研究した。

本研究は多摩大学ホームページに写真付きで掲載されている「私の志」のデータを使用し、そのデータの中から平成 27(2015)年度入学の生徒から平成 29(2017)年度入学のプレゼミの学生の画像データを目で読み取り、機械で分析できるテキストデータに落とし込んだ。また、NTT データ数理システムの「Text mining studio」を使用し、分析を行った。

分析の結果、どの入学年度も自分の将来の事や大学で学びたい事などを記入していた。細かく自分のやりたい事に繋がる講義を受ける、その講義で学んだ事で社会に貢献する。という言葉が多く見られた。また、自分の好きな事や、やりたい事を通じて社会に貢献するという言葉も多く見られ、どの入学年度の生徒も自分の志を明確に持ち、大学に入学している事を見る事ができた結果となった。